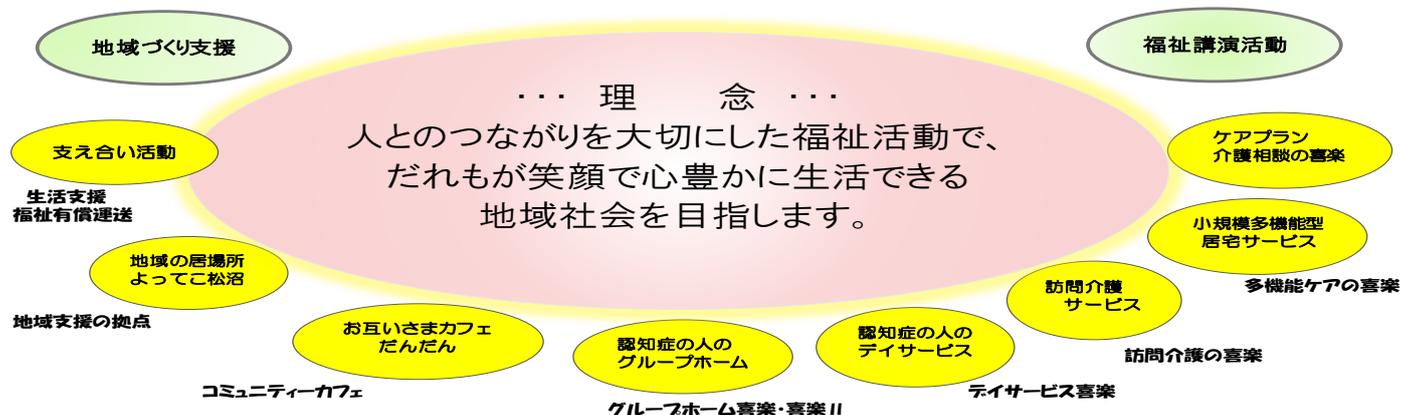


第1号議案

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

NPO法人お互いさまネットワーク



法人指針

1. 地域の人から頼られる介護福祉活動を提供するために成長する。
2. 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
3. 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

〒374-0057 群馬県館林市北成島町1829-5 代表電話 0276-70-1326 共通FAX 0276-70-1327
<http://otagaisamaegao.net/> お互いさまネットワークホームページ

令和1年度 活動の概要

令和1年度は、平成29年度に策定した「法人戦略5年後ビジョン」の3年目の年度となります。予定していた「地域密着型小規模特別養護老人ホーム」は、館林市3年間の計画で予定がないために実施できず、館林市の介護計画に合わせて「広域特別養護老人ホーム」に応募しました。市の審査が通り県に推薦されましたが、県では当法人の計画が承認されなかったため、ビジョンの見直しを余儀なくされているところです。

また、要支援者に対する介護予防・日常生活支援総合事業への「よってこ松沼」「支え合い活動」の参入も、市の明確な計画がないために持ち越しとなっています。

令和2年2月からの新型コロナウイルス感染拡大によりさまざまな自粛要請が出る中、「よってこ松沼」と「カフェだんだん」は3月から当分の間、一時活動休止にしています。

1 事業実施の成果

部署	目標	成果	摘要
会 員	正会員 25名	正会員 22名	協力会員1名退会。募集説明会を2日間行い6名参加。3名入会。 (R1年11月2日、5日)
	協力会員 28名	協力会員 27名	
	利用会員 150名	利用会員 156名	

職 員	令和2年3月31日現在	正職員	パート	計	グループホーム、デイサービス、訪問介護で、介護職員が不足している。 必要に応じて職員の増加を図る。
	管理事務	1	1	2	
	支え合い活動	1	0	1	
	よってこ・カフェだんだん		1	1	
	グループホーム喜楽 喜楽Ⅱ	11	15	26	
	デイサービスセンター喜楽	4	6	10	
	多機能ケアの喜楽	7	11	18	
	訪問介護の喜楽	2	5	7	
	ケアプラン介護相談	4	1	5	
	計	30	40	70	令和2年3月31日現在
法人役員	理事長 恩田 初男 副理事長 増田実保子 監事 赤坂一郎	理事 鴫田富美夫 理事 佐藤 富代 理事 大沼 節子	理事 原島 秀克 理事 陶山 典子 理事 熊倉 慶一 (前北成島区長)		
部 署	目 標	成 果	摘 要		
法人全体	① 地域の一員として地縁組織や地域活動団体と連携・互助を深める。	北成島区いこいの場にデイサービス喜楽、グループホーム喜楽のお年寄りも時々参加できた。	参加できそうなプログラムの時はほぼ参加できた。北成島生涯学習のふれあい広場にブースを出した。		
	② 当法人の活動を定期的に身近な人や地域に発信する。	年3回発行される会報を近隣住民にポスティングした。ホームページ作成ソフトにより、毎日のようにブログを更新し、内容が充実した。	11月25日号と共に2020年のミニカレンダーも4000部程度ポスティングできた。次年度からは、カレンダーのポスティングは続ける。		
	③ キャリアパスを確実に実施し、社内での人材育成環境を構築する。	介護労働安定センターから講師を招へいし、介護職員ほぼ全員が3回にわたり講習を受けた。これにより統一的な介護技術の確立が可能になった。	講習に使用したテキストをまとめ、今後の介護基本テキストとして使用する。これにより職員の日常介護の基準が明確になった。		
支え合い活動	理念「会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す。」				
	① 協力会員 28名 利用会員 150名目標	協力会員 27名 利用会員 151名	協力会員は途中の増減ありました。		
	② 総合事業移行の検討	②総合事業を協議するために市役所へ赴いた。	市役所は検討準備が出来ていない。		
	③ 協力者の意識向上に取り組む	③協力者がプチ目標を決めた。	今後の意識向上につなげるために一年を通して実行していただく。		
	④ 利用者の満足度調査をし、利用者の声を集めた。	④・永く活動してくれている人が多く安心できる。 ・免許証を返納後途方に暮れていたところ、ケアマネが教えてくれた等々お互いさまがあって良かったとの声あり。	協力者の励みになるよう利用者の声を協力者に伝える機会をふやす。		

	⑤ チケット販売目標 900円券 3,500枚 450円券 1,500枚 500円券 5,500枚 100円券 6,500枚	チケット販売実績 900円券 3,123枚 89% 450円券 1,746枚 116% 500円券 5,225枚 95% 100円券 5,474枚 84%	チケット販売は、週1、週2の定期継続利用の方より、単発の利用者が多くなり、時間券の販売目標が伸びなかった。
地域の居場所 よってこ松沼	理念「人とのつながりをつくり笑顔になれるところです。」		
	① 美味しく食べて健康に過ごせる居場所になる。	定食・喫茶の利用者が増加し、賑やかな居場所となった。書に親しむ会・ハーモニカやオカリナ同好会など、定例で集まることができた。	食事の利用一日平均 14.0食 利用者一日平均 20.2人 松沼・北成島 一日14.0人 市内や邑楽町などから 平均6人 歌声や朗読のイベント参加者増加
	② 営業日には必ず10分間体操を行う。	月に一度の指導員は確保できた。指導員がいない日・リーダーがいないとき、体操が出来なかった。	いつも同じ時間に同じ体操をする、というような習慣をつくる工夫をするべきだった。
	③ 地域との交流を深める	松沼町のお祭りを応援するつもりだったが、取りやめになって貢献できなかった。送迎の工夫も考えてみたが実効性のある工夫は出来なかった	相乗り送迎を考えてみたが、需要を掘り起こすことができなかった。 新型コロナウイルス感染防止対策により、3月の活動は中止にした。
だんだん	理念「カフェだんだんは、心ゆたかな生活を支える出会いと情報のかけはしです」		
	① 出会いと情報の「かけ橋」として居心地の良いカフェをアピールする。	音楽イベントは、7月から油川KAZUバンドもライブを行った。ムジナと合わせて2チームが月に1回ずつ演奏し、お客にまじって介護施設の利用者も楽しんだ。絵画や手工芸に取り組む人々との交流もできた。職員の研修時には、だんだんで昼食を食べてゆっくり昼休みをとってもらえた。	10人のスタッフで運営。営業は月火水木金の10時～4時 利用者 一日平均7.3人 喫茶利用一日平均6.2杯 軽食利用一日平均4.1食 1月コミクルカフェに会場提供。営業時間外の貸し出しも行った。壁面展示は絵画工芸など8人が参加した。新型コロナウイルス感染防止のため、3月の活動は中止。
グループホーム 喜楽の事業	理念 「地域社会の中で人とのつながりを大切にし、その人らしくあなたと共に暮らします。」		
	① グループホーム同士の交流を深める。(喜楽の会)と毎月行う。	第1土曜日ノンアルコールとお寿司で会食。ゲームや歌で親睦を深めた。	お年寄りや職員から今後も行っていきたいとの意見があり、継続していきたい。
	② 3日連休を年2回取得出来るように工夫する。	職員不足もあったが、協力し合いながら連休を取ることが出来た。	忙しく仕事をしているが、工夫しながら連休が取れるようにしていきたい。
	③ 毎月職員会議でお年寄りとの関わりで楽しかったことなど、エピソードを話す。	毎月職員会議で聞いていると気づかなかったことを知ることが出来るのでよかった。	新しい発見があるので、今後もお年寄りを交えての楽しいエピソードを伝えていく。

デイサービスセンター喜樂の事業	理念 「デイ喜樂は、楽しみをもってゆっくり過ごす、あなたのもうひとつの家です。」		
	① 安定した利用者の確保	毎月、居宅事業所へ空き状況をFAXした。	在宅介護が難しくなり、施設入所される方も多く、利用者の安定とはならなかった。
	② 統一的な対応の仕方を学習し全員で試みる。	職員会議として毎月学習した。	担当ごとに責任をもって学習できた。
	③ 利用者さんの「笑顔」と「できた」を増やす。	日常会話の中から希望を聞いた。	満足できる支援にまでは至らなかった。
多機能ケアの喜樂の事業	理念 「一人ひとりが主人公 私たちは、あなたらしい生活を地域の中で、ご家族と共に柔軟に支援します。」		
	① 利用者、家族、職員、地域のチーム力を高める。 ・24時間の支援を意識した係わり。 ・家族の声なき声に心を傾け、連絡を密にする。	・地域とのチーム力連携は難しかった。 ・ターミナルケアを行ったことでチーム力が高まった。 ・GPSの導入をすすめた。	利用日以外でも電話、声掛け、緊急時の支援など行った。 営業・広報活動や居宅との連携により、利用者は少しずつ増えてきている。
	② 報連相の徹底	・連絡票を活用	・継続して取り組んでいる。
	③ 利用者の獲得(平均2.3名)	・平均23.3人の利用者を獲得することが出来た。	入院や、ご逝去などで一時的に利用者の減少があった。今後も利用者の獲得に努めていく。
訪問介護の喜樂の事業	理念「私たちは「笑顔」「安心」「生きる気力」を届けます。」		
	・ヘルパー同士のコミュニケーションを深め、さまざまなアイデアを出し合いサービス向上に繋げる。	ヘルパー全員が集まる機会を作り様々な話が出来た。コミュニケーションが深められたが、サービス向上までに至らなかった。	4月～11月、毎月会議の後に時間を設けた。仕事以外の話が多くなったが、業務外の話をすることも必要で良かったと思う。
ケアプラン介護相談の喜樂の事業	理念「介護に係る相談を提供することで地域に貢献する。」		
	① アセスメントの重要性を再認識し、新規・現利用者の想いをくみ取る。	新規利用者のインテークの際、二人で訪問したので、管理者が契約を結ぶ間に他の介護専門員がアセスメントし、後にすり合わせをすることでアセスメントの向上が図れた。	認知症の方、独居の方の意向に耳を傾けることを忘れ、キーパーソン中心にサービスをつなげることもあった。
	② 介護保険サービス以外のサービスををプランに取り込む。	インフォーマルサービスにつなげるように心掛けたことで、多くはプランに落とすことが出来た。	まだ、サービス資源を把握しきれていない地域もあるので、さらなる情報収集が必要である。
	③ 認知症についての理解を深め、各介護支援者は個々の利用者と同じ対応が出来る。	会議の中で、認知症利用者を取り上げ、対応の仕方を確認して共有し、どの職員も同じ対応が出来るようになりつつある。	冊子の読み合わせ勉強会で認知症について学習したが、現実とのギャップが大きい。今後も基礎知識が必要なため、勉強会は続けていく。

1月～3月 介護技術向上のための学習会 介護職員ほぼ全員が一人3回に渡って参加しました。介護労働安定センター木村先生



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
支え合い活動	日常生活で誰かの手助けが欲しい時、会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す活動です。	活動日数 351日 延べ活動 3,129回	利用者の 自宅～病 院等 他	協会員 延べ活動者数 3,243人	何らかの理由によって日常生活で困っている人を支援。 延べ利用者数 3,129人
地域の居場所 よってこ松沼	地域の人々がだれでも気軽に来られ、親しく笑顔になれる交流の場を提供。定食・喫茶のほか、歌声喫茶、書に親しむ会、朗読鑑賞等のイベントを用意。アゼリアモール買いものツアー、9月古代蓮の里の散策を行った。そのほか、5月のたたら夢市参加	月火水金の週4日 165日 3月は活動休止	館林松沼町 「よってこ松沼」	担当理事2名 スタッフ 延べ624	地域の居場所 延べ来所者 3,337人 1日平均 20.2人 松沼・北成島計2,315人 その他市内等計1,022人
お互いさま カフェ だんだん	「こころゆたかな生活を支える出会いと情報のかけはしになる」 壁面展示は、月ごとに変えている。毎月第3・4水曜日は定例音楽イベントも行うことが出来た。地域に休業日の会場貸し出しを行った。軽食300円・コーヒー等喫茶200円 認知症カフェとしては特に設けなかった。	月火水木金に営業 10～16時の間 3月活动休止	ケアマネ事務所の会となり カフェ	担当理事1名 スタッフ 延べ513名 3.5時間交代 一日ほぼ2人体制	広く一般にオープンしている。 スタッフは近隣にお住いのボランティア9名。4月～2月で延べ1732名利用 休業日の貸し出しは、 半日1000円 北成島町は無料 月1～2回は貸し切りあり。
講習事業	地域の介護人材ニーズに応じて、安心して暮らせる地域をめざし、人材育成する事業（群馬長寿社会づくり財団から委託事業）	介護補助員養成講座	シニアワークプログラムとして	当方講習室で行う予定だった。	受講者が集まらないために中止となりました。
グループホーム 喜楽の事業	介護保険施設として、認知症の人へ共同生活住居において、介護や生活支援サービスを提供し、地域との繋がりを大切に喜びと安らぎを持って生活してもらう事業	365日 24時間	グループホーム 喜楽 喜楽Ⅱ	管理者1名 看護師1名 正職介護職員 9名 パート介護職員15名 計 26名	認知症のため自宅での生活が困難な人 喜楽 9名 喜楽Ⅱ 9名 共用デイ 7名 計 25名

デイサービス センター喜楽 の事業	介護保険において認知症の人の自宅での生活を支えるため、通いで介護サービスを行う事業	349日 第4日曜日及び 12/30 から1/2 休み	デイサービスセンター喜楽	管理者1名 正職介護職員 3名 パート介護職員 6名 計10名	館林在住で認知症のある方 契約者 27.9 名 延べ利用者数 2,995 名 1日平均 8.58 名 泊まり実施 3日
多機能ケアの 喜楽の事業	利用者個別の利用の仕方に対応し、通所・訪問・ショートステイを組み合わせた支援を行う。地域連携として、利用者がよく行く店や食堂、医療機関と連絡を取り合っている。ももの木保育園子育て支援センターとの交流会も 5回 行った。	365日 休業日無し	通所、泊り・訪問を組み合わせた利用	管理者1名 正職員6名 パート11名 計18名	柔軟な利用に対応するため 職員の増員を含め、配置を考えていく。 契約者数 26名
訪問介護事業	介護保険において自宅での生活を支えるために訪問して介護・家事援助を行う事業	365日	利用者の自宅に訪問	管理者1名 正職員1名 パート介護職員 5名 計 7名	自宅で介護・家事援助の必要な方 利用者数 48 名 要介護 26 名 予防 22 名
ケアプラン介護相談事業	介護保険において自宅での生活を支えるために必要な介護サービスの提供を利用者等と相談し、サービスの提供を支援調整する事業	365日	ケアプラン介護相談の喜楽事務所	管理者1名 介護支援相談員 4名 計 5名	介護サービスが必要な方 利用者数 136名 要介護 86名 予防 50名
関連事業	・公益社団法人認知症の人と家族の会が開催する「家族のつどい」の東毛地域を担当した。家族の悩みや困り事を共有することによって介護負担の軽減を図る。 ・介護の仕事イメチェンプロジェクト～映画「ケアニン」上映とトーク～	15回開催 8月24日（土）	太田館林伊勢崎 館林三の丸芸術ホール	館林市の介護事業所と共に事務局を担った。	認知症の人を介護している家族・本人が参加した。 中学生を中心として、保護者と共に鑑賞して考えてもらうイベントだったが、生徒の参加はほとんどなかった。
会報の発行	年3回会報を発行して活動の内容を広報している。多々良地区近隣に4000部ずつ2回のポスティングを行った。会報はホームページからも見ることが出来る。	年3回		会員・サービス利用者のほか多々良地区へ	発行日 令和元年 7月25日 令和元年12月25日 令和2年 3月25日

◎職員が運転シミュレーターによって自分の運転適性を振り返りました。7月16日



この車の中で ⇒ 適性テスト



◎ホームページの更新

ホームページのブログは見やすいと、家族からも喜ばれています。気軽に更新できるシステムなので、各事業所から写真を提出してもらうとすぐに、コメントをつけて日常生活をお披露目できます。施設のご利用案内にも役立つように今後も内容を充実させていきます。

<http://otagaisamaegao.net/> にお気軽にアクセスしてみてください。

(2) 収益事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
	収益事業の実施はありませんでした。			

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

第20回定時社員総会の開催

- ・日時 令和元年5月10日(金曜日) 午後6時00分～7時30分
- ・会場 NPO法人お互いさまネットワーク 講習室
- ・議題 第1号議案 30年度事業報告・収支計算書の報告・監査報告
第2号議案 令和元年度事業計画・収支予算の報告
第3号議案 役員変更の件
- ・その他

(2) 理事会

事業計画に基づき事業の進捗状況や事業に対する意見や検討を行っています。

理事会はデイサービスセンター喜楽を会場とし19時～21時で開催しました。

	開催日	会議の内容
第1回	R1年 6月21日	令和元年度に取り組む事業について。50名特養応募について
第2回	R1年 7月22日	イメチェンプロジェクトについて。日常生活総合事業について。
第3回	R1年 9月20日	キャリアパスの実施に向けて、1～3月に介護職員研修を行う計画。
第4回	R1年 10月18日	日常生活総合事業B型検討はしばらく保留とする。
第5回	R1年 11月15日	諸事情により中止
第6回	R2年 1月17日	50名特養について、市役所から選定され県へ提案される決定。
第7回	R2年 2月21日	特養は県の承認が得られず白紙。外国人スタッフ技能実習生受け入れ検討
第8回	R2年 3月20日	新型コロナウイルス感染予防について。令和元年度の成果まとめと課題
第9回	R2年 4月27日	R2年度法人目標について。5年後ビジョンについて検討

(3) 責任者会議

- ①行事予定や各部署での課題を担当責任者で共有し、意思統一と部署間の情報共有の会議を行った。
毎月第1火曜日・18時00分～19時00分 12回開催

(4) 支え合い活動

- ①協力会員への総会報告会

30年6月27日	お互いさま講習室	総会報告・事業計画等今年度の取り組み
----------	----------	--------------------

②協力会員懇談会

	開催日	会場	内容	参加者
第1回	R1年11月28日	お互いさま講習室	協力会員交流会 ふるさと 出前講座「防災のはなし」	10名
第2回	R2年3月23日	お互いさま講習室	新型コロナ拡大により中止	

(5) 「よってこ松沼」

①運営検討会

よってこ松沼の運営に関して、行政、包括支援センター、他のNPO法人などの委員によって検討しています。開催場所は「よってこ松沼」で、その日のイベントの様子や利用者の声など感じていただけるよう営業時間帯に開催しています。

	開催日	会議の内容
第1回	R1年8月26日	R1年度経過報告 現状と課題（新地域支援事業参画可能性）
第2回	R2年3月 なし	～新型コロナウイルス感染予防のために～ 計画中止

②スタッフ会議

キッチンスタッフ・デイスタッフによる毎月の行事予定、メニューなどの検討を行っています。「よってこ松沼」で14時00分から1時間半。地域との連携を模索するものの、成果は出ません。松沼町住宅地の両端で停留所を設ける「相乗り送迎」も考えたが需要を引き出すことが出来なかった。

③広報活動

「館林市広報」の配布に合わせて月に一度、「よってこ松沼イベント情報」を全戸配布しています。およそ500戸に配布するに当たり、松沼町区長さんをはじめ、役員さんのご協力に感謝申し上げます。お互いさまネットワークのホームページから、毎月のイベント情報を見ることが出来ます。ホームページには「笑顔日和」と題して、日記を書いています。毎日更新が課題です。

(6) 講習事業

（群馬長寿社会づくり財団からの委託事業）

シニアワークプログラム介護補助員養成講座は受講申し込み者がなかった。

(7) グループホーム喜楽

①運営推進会議

グループホームが閉鎖的にならないよう地域の方、ご家族、行政職員等で運営を検討しています。

開催日	R1.5.29	R1.7.23	R1.9.24	R1.11.19	R2.1.28	R2.3月中止
-----	---------	---------	---------	----------	---------	---------

②家族会

GH喜楽・喜楽Ⅱにおいて年2回家族会を開催し、情報交換と家族間の交流を行っています。

	開催日	会場	内容
喜楽	R1年6月30日 喜楽Ⅱと合同	アゼリアモール 家族と 買い物で交流	アゼリア内のレストランで食事のあと お互いさま講習室で家族懇談会
	R1年12月7日	GH喜楽 ホーム内	スペシャル希望プロジェクト夢
喜楽Ⅱ	R2年2月16日	GH喜楽Ⅱ ホーム内	スペシャル希望プロジェクト夢

③職員会議・ケアプラン会議を各々月1回、木曜日20時00分より開催しています。

	職員会議	ケアプラン会議
グループホーム喜楽	12回開催	12回開催
グループホーム喜楽Ⅱ	12回開催	12回開催

④避難訓練

・消防署の立ち会いによる訓練（年2回）

実施日	内 容
令和元年 6月22日	グループホーム喜楽 夜間想定訓練
令和元年 11月23日	グループホーム喜楽Ⅱ 夜間想定訓練

・自主避難訓練 毎月グループホームで夜間想定、他の部署では昼間の火災想定で実施

実施日	実施日	実施日	実施日	実施日
31年4月27日	R1年5月25日	R1年7月27日	R1年8月24日	R1年9月28日
R1年10月26日	R1年12月28日	R2年1月25日	R2年2月22日	R2年3月28日

(8) デイサービスセンター喜楽

①職員会議 毎月1回 年間 12回

②運営推進会議 R1年7月23日とR2年1月28日にグループホーム・多機能ケアの喜楽と同時開催で行った。

③家族のつどい 家族とデイでの利用者の様子や自宅での困り事などの情報交換を行っている。

開催日	会 場	内 容	参加者
R1年 6月15日	お互いさま講習室	「認知症の理解と介護」小冊子にて学習	ご家族 2名
R1年 11月12日	お互いさま講習室	ご家族の苦勞や悩みを聞かせてもらう	ご家族 3名

④季節の行事 利用者と職員で企画し楽しむ

開催日	内 容	開催日	内 容
1年8月30日	カラオケ音楽体操	2年2月3日	節分 お寿司と豆まき
9月16日	敬老の日にはお寿司！	3月3日	ひなまつり
11月7, 8日	美術館 ピカソ展鑑賞		桜もち作り・お寿司
12月 8日	もちつき大会	3月20日～	桜を見ながらの歩行訓練
12月 25日	クリスマス会 お寿司と ノンアルビール	31日	

(9) 多機能ケアの喜楽

① 職員会議 毎月1回 12回

② 家族会 1回 8月25日（10家族が参加） 2月（新型コロナウイルスのため中止）

③ 運営推進会議 グループホームと合同で開催 年6回

R1年5月29日	7月23日	9月24日	11月19日	R2年1月26日	3月中止
----------	-------	-------	--------	----------	------

(10) 訪問介護の喜楽

① 学習会 訪問員同士のコミュニケーションをはかり、サービス向上に繋げる。

開催日	R1年6月12日	R1年9月11日	R2年1月8日	R2年3月11日
-----	----------	----------	---------	----------

② 職員会議 毎月第4水曜日 18時～20時で開催 利用者の状況確認、日程等を調整する。

(11) ケアプラン介護相談の喜楽

- ① ケース情報共有会議 1回：介護保険サービスに繋がらない利用者を行政・関係機関と共に検討する会議
 地域包括ケア会議 1回：認知症徘徊シートを提出した利用者について、行政・関係機関と共に情報共有
 認知症初期集中支援チーム調整会議 1回：認知症初期支援チームが解散する際介護支援専門員に引き継ぐ
- ② 職員会議 毎月5日前後 16時～18時 12回開催しました。
- ③ 毎週金曜日定例会議として、全利用者を全職員が理解するために情報を共有しています。

(12) 慰問ボランティア来所

毎月慰問ボランティアの人に来てもらいグループホーム・デイサービス利用者の楽しみになっています。

会場 お互いさま講習室

開催時間 14時～15時 (餅つきは午前9時から)

開催日	担当部署	内容	ボランティア数	参加者+スタッフ
31年4月18日	GH喜楽	大正琴の演奏 廣浦さん・横川さん	2名	各事業所利用者 + スタッフ
R1年5月22日	GH喜楽Ⅱ	昔おとめの会 みんなでコーラス	8名	
R1年6月16日	デイ喜楽	アカペラコーラス 縁(えにし)	5名	
R1年7月10日	多機能喜楽	石川京子さん 手遊び&歌	1名	
R1年8月17日	GH喜楽	コーラス わらべ	10名	
R1年9月30日	GH喜楽Ⅱ	よってこ松沼 オカリナくらぶ	3名	
R1年10月26日	デイ喜楽	関東学園大学付属高等学校 和太鼓部	19名	
R1年11月24日	多機能喜楽	よさこいソーラン節 草野さんほか	10名	
R1年12月8日		餅つき ご近所～ご家族のお手伝い	多数	
R2年1月27日	GH喜楽	大正琴 演奏と歌 多田さんほか	6名	
R2年2月24日	GH喜楽Ⅱ	よってこ松沼オカリナくらぶ歌と演奏	4名	
R3月	中止	新型コロナウイルス感染防止のため		



コーラス「わらべ」さんのボランティア訪問



よってこ松沼「オカリナくらぶ」ボランティア訪問

